



● 市民のみなさんと議会をむすぶ ●

# だいとうし 議会だより

新しい循環型の豊かなまちを目指して

**5月**  
3月定例会号

## No.30

平成18年(2006年) 5月1日発行 編集・発行／大東市議会  
〒574-8555 大東市谷川1-1-1  
TEL.072-872-2181(代)・072-870-0763(ダイヤルイン)  
FAX. 072-872-3820

## CONTENTS

3月定例会のあらまし …… 2～3  
代表質問 …… 4～7  
一般質問 …… 8～11  
議案の審議結果 …… 12



**会議録が  
ご覧になれます**

ホームページ〈アドレス〉

<http://www.city.daito.osaka.jp/>

市民に開かれた議会を目指し、  
委員会の公開、インターネットによる  
会議録の公開など積極的に  
取り組んでいます。

# 18年度一般会計、9特別会計、水道事業会計予算を可決

市議会第1回定例会を、3月2日に開会し、岡本市長から平成18年度の施政方針が示されました。また、3月12日の日曜日に市議会の各会派の代表者が施政方針を受けて「代表質問」をしました。議案については、平成18年度各会計予算、17年度各会計補正予算、条例の制定・改廃、工事請負契約などについて審議しました。

## 総額739億3809万円の予算を可決

平成18年度予算案は、一般会計369億9310万円、国民健康保険・下水道事業などの9特別会計328億62万円、水道事業会計41億4437万円となっています。

予算総額は前年度より32億8560万円の減、一般会計は前年度より32億

688万円の減、特別会計は4億9977万円の減、下水道事業会計は4億2105万円の増となっています。

歳出では、子ども・高齢者・障害者を支援する施策、教育施策、防災強化やバリアフリー整備の分野を中心とした施策などを重視した編成になっています。

### 〈主な事業〉

- 地域福祉の向上のため、地域のつなぎ役として総合的な相談を担うコミュニティソーシャルワーカーを、各中学校区単位に配置する事業に4640万円

- 運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・認知症対策など介護予防を目的とした地域支援事業に8985万円
- 障害の種別を問わず、居宅介護・デイサービス・就労支援等の福祉サービスを提供する障害者自立支援事業に8億592万円

- 「教育文化基金」を創設し、子どもの国語力育成の取り組みを充実させるとともに、本市独自のカリキュラム策定やIT機器の整備により指導の工夫・改善を行う、国語力向上事業に3930万円

- 老朽化した北条・野崎両青少年教育センターの耐震化を含めた改修工事を行い、本館と分館を統合した運営に変更する青少年教育センター改修事業に

1930万円

- 市立小学校全校に学校管理員を配置し、児童の安全対策を講じる公立小学校安全緊急対策事業に2087万円

- 住道南小・諸福中・北条中学校の耐震補強、施設改修工事と、灰塚小・住道北小・泉小学校の耐震診断と改修工事に向けた設計を行う大規模改造事業に7億6565万円

- 「次世代育成支援施設整備交付金」を活用し、民間の保育所を建て替える場合に整備補助を行う、法人立保育所整備費補助事業に1億2643万円
- 小学校の空き教室などを活用し、放課後時に保護者が不在の児童を預かる、放課後児童健全育成事業に1億6154万円

- 乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集える環境を整備し、18年度から3カ所に拡充する、つどいの広場事業に1040万円

- 末広公園用地の取得を行い、良好な住環境の創出を図る住道駅周辺整備事業に9799万円

- 大東中央公園へのアクセスや市内南北交通の円滑化を図るため、都市計画道路の整備を行う深野北御供田線新設事業に3億8791万円

- JR四条駅をバリアフリー化するため、駅構外にエレベーターを整備す





- 事業に1億2676万円
- 諸福中垣内線の歩道のバリアフリー化工事を実施し、安全で快適な歩行空間の創出を図る交通安全施設等整備事業に8528万円
- 流域下水道との整合を図りながら公共下水道の整備を進めるための管渠築造新設事業に26億821万円
- 公共下水道整備計画区域外の市山間部に戸別浄化槽を設置し、住環境改善および公共水域の水質改善を図る浄化槽設置事業に1億5869万円
- 防災公園として早期開設を図るため、土地購入および施設整備を行う大東中央公園新設事業に8億5212万円
- JR住道駅前にエレベーター併設の駐車場・自転車駐車場を整備する事業



北条1丁目に開設されたつどいの広場「みどり」

- 8億236万円（18年度予算額と19年度債務負担限度額の合計）
- 地震などの災害に備え、防災機材や避難者生活必需品・食料品などの重要物品を計画的に備蓄する防災対策事業に1293万円
- 化学消防自動車と火災原因調査専用車を整備し、消火力強化を図る事業に3740万円（18年度予算額と19年度の債務負担限度額の合計額）
- 自動体外式除細動器（AED）を庁舎と保健医療福祉センターなどに設置し、心肺停止者発生時の救命率向上を図る事業に142万円
- 製造業者の実態調査を行い、大阪産業大学や大東商工会議所と連携してインキュベーター施設の運営、産業振興ビジョン策定などを実施する地域産業振興事業に3202万円
- 文化情報センター（DICC21）を映画館機能と音楽系機能を有した施設としてリニューアルし、市民芸術・文化活動の支援を行う文化情報センター運営事業に1534万円
- 市制施行50周年を市民全体で祝うため、記念式典を行うとともに、市民が企画するイベントの実施やお祝いメッセージの募集を行う50周年記念事業に713万円
- 戸籍事務の効率化による市民サービスの向上を図るためシステムを導入する、戸籍事務OA化事業に2億1200万円（平成19年度と20年度の債務負担限度額の合計額）
- 小学校の学校給食調理の効率化を図るため、新たに泉小・三箇小学校の調理業務を民間に委託する給食調理委託事業に2億3374万円（金額は1万円未満四捨五入）

## <決議文>

市制50周年を記念し  
高齢者を祝福するための決議

いきいき委員会において、下記のとおり付帯決議され、市議会としても重く受け止め、ここにその実現を強く求めるものである。

記

大東市長寿祝金条例の廃止に伴い、平成18年度は、市制50周年を記念し本市の今日の繁栄の礎を築かれた高齢者を祝福するための新たな祝金の創設を検討すること。

また、その実施の際は議会と協議すること。

以上、決議する。

平成18年3月

大東市議会

## 市制50周年を記念し、高齢者を祝福するための決議を全員賛成で可決

この条例は平成18年7月1日から施行されます。

## 乳幼児医療費の助成 所得制限を撤廃

4歳未満の乳幼児を抱えるすべての家庭の、精神のおよび経済的負担の軽減を図るため、対象者の所得制限を廃止する「乳幼児医療費の助成に関する条例」の改正案が提出され、全員賛成で可決しました。

## 文化財保護条例を制定

文化財の保存・継承および活用のための必要な措置を講じ、市民の郷土に対する認識を高めるとともに、文化の向上・発展に資する目的で提案され、全員賛成で可決しました。

## 「環境基本条例」「環境の保全等の推進に関する条例」制定

環境に関する基本的な理念や役割を示し、環境行政を総合的に推進するため環境基本条例案が提出され、全員賛成で可決しました。また、これに伴い、環境の保全等の推進に関する条例が制定され、地球温暖化対策、公害対策、環境美化対策が推し進められます。

# 代表 質問

岡本市長の施政方針を受けて、3月12日の日曜日に市議会の4会派の代表が質問を行いました。各議員から掲載希望のあった質疑を掲載しています。

## 公明党議員団

**問** 門真市駅から南進するモノレールの建設について、本市にとっての必要性をどのように認識していますか。

**答** 平成9年に、南茨木駅から門真市駅までの区間が開業しています。16年10月の近畿地方交通審議会の答申では、門真市から近鉄奈良線・瓜生堂に至る区間が、新たな路線に決まりました。本市にとってモノレールは、南北方向への重要な交通アクセスとの認識から、毎年、大阪中央環状モノレール建設促進会議を通じて、府に事業の早期着手を要望しています。17年度からは、府と関係市とで新たな組織を発足させ、検討を行っています。

**問** 市制50年記念事業の一環として、文化・スポーツ分野での記念表彰がされると聞いていますが、本市の今日を築いた人々の顕彰がないのは非常に残念です。名誉市民称号の選考と、授与の実施を市長に求めます。



寺坂 修一議員

**答** 市政振興のために尽力された方々は、毎年開催している文化の日式典表彰で、各種の顕彰を行っています。また、今回の市制50周年式典でも多くの市民を表彰できるよう、周年表彰基準を設けています。名誉市民称号の選考と授与については条例で、政治、経済、学術、技芸その他、社会文化の進展に貢献し、その功績が卓越で、広く市民の深い尊敬に値する人で、かつ議会の同意を得ることを条件としています。

**問** 本市には全国的に高名な芸術家の方々がおられますが、あまり市民に知られていません。市制50周年記念事業を機に、市内在住の文化・芸術家による作品展を行い、毎年継続して開催するようにしてはどうですか。

**答** 市民が誇りを持てるような芸術家の作品が常設的に展示されるのは、たいへん意味のあることだと考えます。生涯学習センターのギャラリースペースで開催することも視野に入れないが、検討していきます。

**問** ごみの分別については、多くの市民が不満を持っています。分別の拡大や一般ごみの有料化について、どのように考えていますか。

**答** 「一般廃棄物処理基本計画」を策定して、ごみ分別の拡大を図っていく考えです。19年度は、プラスチック製容器包装ごみの全戸分別収集を目標に、準備を進めているところで、

一般ごみの有料化については、大

きな課題であり、市民の意見や審議会などでの多角的な議論を通じて、本市にふさわしい方法を模索すべきだと考えています。

**問** 18年度予算で人件費が12億円削減されましたが、今後はどのように推移しますか。

**答** また、団塊の世代が多く退職していきます。市民1000人当たりの職員数を、府下の最低である羽曳野市や河内長野市並みにしていくと、現在の計画より約100人も少なくなることが予想されますが、行政に支障は出ません。職員定数の管理についても答えたい。

**問** 職員定数は、大東市行財政改革プランのとおり、25年度当初の職員数816人（正職員744人、再任用職員72人）体制を目指しています。団塊世代を中心に早期退職が進んだため、18年度から4年間は大幅に減少しますが、22年度の初めにはほぼプランどおりになっていく予定ですか。

**答** 人件費については、19年度からの4年間は給与は減少するものの、退職手当が増加するため人件費総額は80億円台で推移します。しかし、23年度以降は退職手当の額が通常ベースにもどります。市民1000人当たりの職員数は、確かに計画より少なくなります。再任用職員の応募状況にも注意しながら、定員管理計画を進めていく考えです。



回収、リサイクルされる  
ペットボトル





## 大東 21 議員団

**問** 本市の発展にとって、新駅の設置は極めて重要だと考えています。議会でも特別委員会を設置して検討・研究しているところです。改めて、総合計画のなかに位置付けるべきだと思いますが、市長の見解を聞かせてください。

**答** 総合計画の基本構想では、住道・野崎、四条畷の各駅周辺を商業ゾーンとして位置付けています。ここに新駅を加える場合は、既存駅周辺とのバランスを加味しながら、新駅候補地周辺の土地利用方針を定めた基本構想の改定が必要になってきます。

新駅設置が、本市のまちづくりにとって有効であるとの判断材料が整えば、基本構想の見直しに着手し、議会や総合計画審議会に諮っていく考えです。

**問** 盛大に祝うべき市制施行50周年事業のPRが、行き届いていません。「お祝いメッセージ一筆啓上」のほかに、どのような取り組みが予定

されていますか。

**答** 記念事業としては、文化・学習施設「来ぶらり南郷」と生涯学習センターのオープニングセレモニー、50周年記念式典のほか、市民が企画したイベントに対し助成することを考えています。また、市民の特技や日ごろの活動を発表する場の提供とNHK公開セミナーを、ともに生涯学習センターで実施していきたいと考えています。

小中学生には作文を募集します。

今後、記念式典にかかわるチラシを作成し、市内公共施設へ配布するほか、広報で周知していきます。

**問** 表彰者については、文化・スポーツに限定されています。本市の繁栄と発展に貢献した人たちのことを考えながら選考しましたが、顕彰の枠をもっと広げるべきと考えますが、どうでしょう。

**答** 表彰者は、文化・芸術賞、トップスポーツ賞の計4人です。市制50周年という大きな節目だということと、本市が文化とスポーツの盛んなまちを目指しているという理由から、今回限りの表彰を創設しました。

特に優れた成績を残された方々を顕彰することで、子どもたちに「自分も文化芸術やスポーツを頑張っていきたい」という気持ちを醸成していくことを主眼に置いたものです。本市の文化とスポーツがますます盛んになるよう期待を込めて審査会に諮って決定しました。受賞者には記念式典当日に、舞台上でデイスカッションしてもらう予定です。

**問** 諸福8丁目の、旧満電倉庫解体に伴うアスベスト除去工事が問題になっています。民間建築物のアスベスト対策について、本市はどのように対応していきますか。

**答** 当該倉庫については、府から、作業手順の一部に違反があり、施工業者に対する行政処分を検討中との報告を受けています。

民間建築物のアスベスト対策は、本市に指導権限はありません。しかし、施工業者が法令を遵守するよう、府と連携しながら対処していく考えです。また、周辺住民に十分な説明を行うよう求めていきます。

**問** 災害に備えて子どもを対象にした防災教育が必要ではありませんか。

**答** すべての小学校、中学校、幼稚園で防災教育に取り組み、避難訓練などを実施しています。

**問** 晩章を着けたボランティアによる「子ども安全見まもり隊」が、子どもの登下校時の安全を見守ってくれています。市として、ジャンパーなどを支給することを考えてはどうか。

**答** 子ども安全見まもり隊の登録者は、市内全域で約2200人（平成17年12月現在）であり、1日平均450人の方に約100カ所の地点で見守り活動をしていただいています。統一した被服の支給については、ボランティアの人たちの意見も参考にしながら、今後の検討課題としていきます。



岩渕 弘議員



子どもの登下校を地域ぐるみで見守る「子ども安全見まもり隊」

4月1日に行われた「来ぶらり南郷」のオープニングセレモニー



岡本市長の施政方針を受けて、3月12日の日曜日に市議会の4会派の代表が質問を行いました。各議員から掲載希望のあった質疑を掲載しています。

## 清 新 会

**問** 大東中央公園は防災公園として整備中ですが、本公園と接続する防災上欠くことのできない深野北御供田線と阪奈道路までの延伸線についても早期に整備すべきではありませんか。また、防災上の理由だけでなく、生活環境の向上という点からも、生活道路拡幅の手法を確立すべきだと考えますが、どうでしょうか。

**答** 谷田川を越える区間については、大東中央公園へのアクセス道路として位置付け、整備中です。平成20年度に完成する予定です。

本市には狭い道路が多くあり、交通安全面や防災面でさまざまな問題があります。そのため、住宅の建て替え時に、市民の協力を得て、道路の中心線を後退させるなどの手法を用い、幅員の確保に努めているところです。密集街区の面的再整備などについても、まちづくりの視点で地域と話し合っていく考えです。

**問** 17年10月、中央教育審議会答申が出され、学習指導要領の見直

しについて言及していました。その内容は、国語力、授業時間数、教師の資質など、多岐に渡っていますが、本市の教育にどうフィードバックしていきますか。

**答** 強調されているのは、読み書き計算などの基礎的な知識と技能を徹底して身につけさせ、それらを活用しながら自ら学び、自ら考えるなどの生きる力を育むことの重要性です。

本市としては、「ゆとり」と「ゆるみ」を混同することなく、確かな学力の育成を目指します。基礎・基本の徹底はもとより、習熟度別指導や少人数指導を徹底し、実生活で活用できる学習や補充的な学習など、個に応じた指導を行っていく考えです。

**問** 人権・福祉の分野について、優しさと温かさを強調する施政方針は、大いに共感するところです。しかし、地対財特法失効以後は、部落差別を始めとする人権、平和への取り組みが薄らいでいるように感じます。人権・福祉・平和の視点から、全庁的施策を見直すべきではありませんか。

**答** 全ての施策が人権問題を加味しながら推進されるという考えは、本市の人権行政基本方針でうたっているところです。人権行政の推進にあたっては、あらゆる行政施策にかかわる総合調整の機能を強め、各部署での施策の企画・立案・調整がより効果的、機能的に図れるよう、庁内体制を強化していく考えです。

**問** 18年4月から施行される障害者自立支援法は、現場に混乱をもたらしており、また重度障害を持つ人たちは切り捨てられていく可能性があります。市に望むのは、障害に応じた真の自立とは何か、どのように支援していくのかについて考えてもらうことです。多くの関係者と話し合いの機会を持ち、現場の状況を把握すべきではありませんか。

**答** 利用者が不安や戸惑いを感じるようなことのないよう、施行のための周到な準備を進めるとともに、地域説明会の実施や広報などで周知徹底を図ります。自立と社会参加を促進する事業や障害者団体への補助、各種活動と障害者施設の運営に対する支援などは、これまでどおり実施していきます。

**問** 新駅設置の要望が出されている市東南部地域（中垣内、寺川、平野屋、龍間など）は、交通の便が悪く、地形としての高低差があり、また高齢者も多く住んでいます。この地域でコミュニティバスを運行するならば、すぐにも利便性と福祉の向上が図られると思っています。試行期間が終わる12月以降は、東南部地域で運行してはどうですか。

**答** 現在の路線は、「三箇方面」と「南新田・朋来方面」の2ルートを、2台で運行しています。市民の利用拡大と利便性の向上を図るため、公共交通との重複、東南部を含む交通不便地域などを視野に入れながら、新規路線の可能性について検討しています。



川口 志郎議員



市内を走るコミュニティバス



整備中の深野北御供田線



## 日本共産党議員団

**問** 市長は昨年の施政方針の中で、「公助・共助・自助」を言い、

今年の施政方針では「相互扶助」をとさらに強調しています。これは、公的責任を限りなく後景に押しやる考え方だと思いますが、どうでしょう。

**答**

地方分権が進む中、自ら地域を治めるという自治本来の力を高めるためには、地域の構成員が自立の意識をはっきりと持ち、その上でお互いを認め合い、補完し合うことが相互扶助であり、信頼で結ばれた地域の形成につながるものと考えています。

豊かな地域社会は、市民の協力がなければ実現できませんが、行政の責任はこれまで以上に大きくなります。今後も行財政改革を推進し、民間活力との連携を深め、地域の実情に応じた施策を展開しながら、行政の果たすべき役割と責任を全力で全うする考えです。



古崎 勉議員

**問**

市民生活を守るため、次の点を実行してください。具体的な答弁を求めます。

①国民健康保険の「資格証明書」や「短期保険証」の発行を取りやめてはどうでしょう。

**答**

国民健康保険税の収納は、制度を維持し、被保険者間の負担の公平を図るために重要です。資格証明書は、保険税を、理由もなく1年以上滞納している世帯に対して発行しているものです。電話、文書、訪問などでも接触の機会が得られず、弁明の機会を設けても応答がないため、やむを得ず発行しています。同様に、短期保険証についても、納付状況を見極めて交付しています。

**問**

②「障害者自立支援法」によって増える本人負担の軽減措置を講じてはどうですか。

**答**

所得に応じた月額負担上限額の設定、入所施設利用者の個別減免や補足給付、通所施設利用者の食費軽減など、さまざまな軽減策が講じられているので、本市独自の軽減策は予定していません。

**問**

③介護保険料が一度に1200円も上がり、年金だけで生活している人には重い負担となります。値上げの再検討や軽減措置は考えられませんか。

**答**

介護保険料は、これまでの介護保険給付の実績値をベースに、今後3年間の本市の高齢者人口、認定者数、介護保険利用率などを推計した上で、全国統一の計算シートを使って算出しています。また、一般会計からは繰り入れで

きないため、再検討することはできません。

**問**

④75歳以上のお年寄りが楽しみにしていた「長寿祝い金」を廃止するのは、行政として冷たすぎるのではありませんか。

**答**

長寿祝い金は、個人給付の意味合いが強く、高齢者の自立支援のために有効に機能しているとは言い難いため、今回、条例の廃止を提案しています。捻出した費用は、給食サービスや火災報知器の設置事業に充てていきます。

**問**

議会運営委員会が、東京・杉並区のごみ行政を視察しました。プラスチックの分別収集で、ごみが激減したそうです。本市でも、プラスチック製の包装類やトレイなどの分別収集を行ってはどうですか。また、粗大ごみ収集の有料化は行うべきではないと考えますが、どうでしょう。

**答**

「容器包装リサイクル法」の対象品目である「その他プラスチック」については、全戸分別収集が実施できるよう検討しているところです。粗大ごみについては、「収集日が来るから廃棄する」のではなく、「不用になったときに処分できる」という方向に転換することで、物を大切にする生活に誘導できるのではないかと考えています。

有料化については、粗大ごみをほとんど出さない世帯と多く出す世帯の、費用負担の不公平性が指摘されているところです。今後のごみ行政を見直す過程での検討課題とします。



モデル地区でのプラスチック製容器包装ごみの分別収集

ますます重要になってくる介護保険制度での取り組み



# 一般質問

今期定例会では、13人の議員から一般質問がありました。各議員から掲載希望のあった質問を掲載しています。一般質問項目一覧は11ページに掲載しています。

## 市役所職員の退職日について

光城敏雄議員（無会派）

**問** 民間会社の社員の定年退職日は誕生日が普通ですが、職員の定年退職日を3月31日に限定している理由は何ですか。

**答** 定年を定める目的は、組織の活性化の確保、公務能率の維持増進、職員の職務継続を保障して、公務に専念させるなどです。本市の定年は医師が65歳、その他の職員は60歳です。定年退職日は、定年に達した日から最初の3月31日とし、国に準じた取り扱いにしています。

**？** 職員の給料表は、何種類ですか。また、その必要性は何ですか。

**！** 医師に適用する給料表と、医師以外の職員すべてに適用する行政職給料表の2種類です。行政職給料表は、1級から8級に級立てされています。

また、各級にいくつかの号給を設けており、号給が上がるごとに給料額が上がるようになっていきます。これは、経験を経るにしたがって熟練の度が加わることを考慮したものです。

今回の条例改正では、勤務成績の導入を目的に、現行の1号給を4分割し、国に準拠した給料表にしています。

## 災害時のトイレ問題についてなど

大谷真司議員（公明党議員団）

**問** (1)下水道のマンホールを利用した防災用簡易トイレを、本市でも導入してはどうですか。また、簡易トイレに転用できるマンホールを、市内の各公園に設置できませんか。

**答** 現在備蓄している組み立て式トイレは、便貯留槽方式のため限界があります。マンホール対応の防災用簡易組み立てトイレは、その限界を超えて使用できるので、今後の備蓄計画に組み込んでいく考えです。公園内のマンホールを利用した防災用簡易トイレについては、防災公園として位置付けている大東中央公園に設置する方向で検討します。

**？** コンパクトなマンホール対応のトイレを自治会などで備蓄できませんか。

**！** 組み立て式トイレを含む物資については、今後、施設管理者とも協議しながら分散備蓄に努めていく考えです。

**？** (2)各駅に、図書返却ポストを設置することはできませんか。

**！** 住道駅南の生涯学習センター3階に設置する予定です。他の駅にも設置できるように関係機関にお願いし、検討していきます。

## 恩智川右岸道路の安全対策

山元 学議員（公明党議員団）

**問** 恩智川右岸側管理道路の、御供田新橋辺りが特に狭くなっていますが、この付近は住宅開発が進み、通行量が増えているため非常に危険です。高齢者や身障者用電動車いす利用者は、雨天時など特に危険を感じています。歩道を拡幅し、路面表示などを設置すべきではありませんか。

**答** 当該道路は御供田松の鼻橋線で、車道の幅員は、最大の所で約7.0m、最小の所で約3.7mです。少なくとも、4.0m以上の確保が必要と考えており、費用対効果も含めて整備に向け検討していきます。



整備が望まれる御供田松の鼻橋線

**？** 夜間の安全確保のため、照明灯の設置位置と増設を検討すべきではありませんか。

**！** 市道の道路照明は、歩道が設置されている主要幹線道路を中心に、順次設置を進めているところです。今後は、幹線道路と幹線道路が交差する、市道の交差点部分に重点的に設置していく考えです。当該箇所については、設置位置も含め今後の検討課題とします。

## 電子黒板の設置についてなど

澤田貞良議員（大東21議員団）

**問** (1)職員互助会退会給付金制度廃止に伴う清算金約1億8000万円の内、小中学校に12月議会でも質問した「電子ボード」を設置できませんか。

**答** 平成18年度から、「国語力向上事業」によって、順次各校に設置していきます。また、教員が有効に使いこなせるよう、事前に研修会を実施する考えです。

**？** (2)新小学1年生の給食開始時期をもっと早めてほしいという市民に対して、どう応えますか。



!

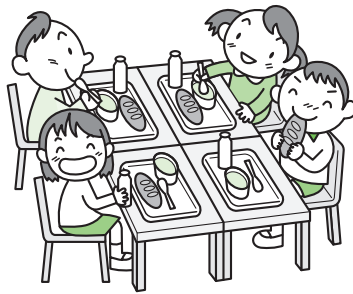
新1年生にとって、一定期間の短縮授業は必要だと考えています。もっと早めることが、教育的視点で適切かどうか、学校給食会や学校現場と議論しながら検討していきます。

?

14年度から、新1年生の給食開始日を1週間早めた経過について、聞かせてください。

!

「入学直後の1年生は緊張しているため、一定期間授業を短縮する必要がある」という観点と、「給食は教育の一環である」という観点を検討し、児童に影響が現れない範囲で給食の開始時期を1週間早めました。



## 公共施設の有効活用について

寺坂修一議員（公明党議員団）

問

北条、野崎の両青少年教育センター別館が廃止されると聞きましたが、今後、建物はどのように活用されますか。また、青少年教育センターの必要性について答弁してください。

答

青少年教育センターは、地域の「人権教育・生涯学習・子育て支援の拠点」であり、今後必要な施設だと認識し、

多角的な取り組みを展開しています。また、別館廃止後の活用方法については、庁内の検討会で議論しているところです。

?

小中学校の余裕教室は、どのように活用されていますか。

!

余裕教室の87・2%が、学校教育の質的向上のために活用されています。その他は、放課後児童クラブ、防災倉庫、生涯学習施設、書庫などです。

?

児童センターの役割について、どのように認識していますか。

!

深野、諸福両児童センターは今日の社会情勢を考え、児童の健全育成と貴重な遊び場を提供する重要な施設と位置付けています。また、両センターがある小学校区には放課後児童クラブがないため、この機能も果たしていく考えです。

## 子どもを産み育てやすい環境を

環境を

内海久子議員（公明党議員団）

問

平成18年10月から国の出産育児一時金が増額されます。本市の増額を、国と同時にスタートできますか。

答

本市でも、10月から実施していきます。女性の健康支援としてのマンモグラフィによる乳がん検診の受診拡大についてはどうなっていますか。

!

平成14年度から実施していますが、18年度は日曜日の検診や、15時から19時までの夕方検診、また一部医療機関でも実施する予定です。

妊婦の健康支援にマタニティマークの活用なども要望します。

?

児童虐待防止について、市独自の条例を制定してはどうか。

!

本市では、関係機関による「児童虐待防止連絡会議」を発足させ、相談に対応し、児童虐待防止マニュアルを作成する予定もあります。条例化については、本市議会の少子化問題特別委員会と共同して取り組んでいく考えです。

## JR鴻池新田駅のエレベーター設置問題など

岩淵 弘議員（大東21議員団）

問

(1)鴻池新田駅にエレベーター設置を求める要望書を、平成16年に東大阪市長に直接提出してきた経過があります。過日、東大阪市長が予算化したとの報道がありました。詳細を説明してください。

答

東大阪市長から、当該駅をバリアフリー化する予算を18年度当初予算で計上し、エレベーターの設置など、移動を円滑にするための整備を実施すると報告を受けています。

?

(2)府道深野南寺方大阪線を横断して三箇小学校に通学するのは、全児童543人中233人です。登校時は1カ所の信号に集中するため、歩行者用信号の時間を少し長くしてほしいとPTAから要望があります。私も警察に行き



登校時の歩行者用信号の時間が延長された三箇小学校付近交差点

!

ました。市から申し入れをすべきと思いますが答弁してください。

17年2月に、13秒から20秒に延長されましたが、依然として問題があるとPTAから市に要望があり、四條畷警察に申し入れを行いました。その結果、3月17日に公安委員会立ち会いで5秒間延長されました。平日の午前7時30分から8時30分の間、歩行者信号は25秒となりました。

## こども会活動の支援についてなど

中河 昭議員（大東21議員団）

問

(1)大東市こども会育成連絡協議会（以下「市こ連」）の事務局業務が、青少年協会に委託されると聞きます。業務に支障を来すものではありませんか。

答

子どもたちが異年齢集団の中で文化やスポーツに親しむことは、豊かな人間性を育み社会性を身につけるうえで有意義であり、こども会活動が果たす役

割はますます重要になっていると認識しています。今回は、事務局業務をより円滑に行うため、その一部を青少年協会に委託してサポートをお願いしようとするもので、主体はあくまで生涯学習課にあります。



！補助金の増額はできませんか。

！こども会活動への支援としては、「市こ連」と単位こども会に補助金を交付しています。ほかに、各行事の共催・後援、研修会の実施などを行っており、補助金の増額については今後の検討課題とします。

？(2)「野崎駅周辺総合計画推進協議会」に助成金があり、「四条畷駅周辺まちづくり協議会」にない理由は何ですか。

！「野崎駅」の方は、府・市・地元で構成される官主体の団体であるため、助成金が出ています。

## 津の辺浸水対策についてなど

松下 孝議員（無会派）

問

(1)津の辺地区愛真幼稚園付近の浸水対策として、市長の決断で新たにポンプが設置されることですが、大目

答

の管で、早期にできませんか。

西楠の里公園内にポンプを設置し、津の辺地区浸水箇所から雨水を引き込み、五軒堀川へ放流管で排出します。工事は、地下埋設物の移設工事も伴ったため、平成18年秋ごろから取り組みます。

？

(2)18年度当初予算の前年度比32億円の大幅な減額の原因は何ですか。

！17年度の職員の大量退職により、人件費が約12億円減少したこと、西部図書館や生涯学習センターの整備が完了したことなどによるものです。

？

(3)四条畷駅と野崎駅周辺の今後の整備の課題と、住道駅周辺が優先的に整備されている理由について述べてください。

！四条畷駅の課題は●駅西側にロータリーの設置 ●駅東側に駅前広場の設置 ●都市計画道路(駅前東線・西線の整備、野崎駅は●高架化 ●駅前広場の確保 ●駅西側の改札口の設置 ●西側改札口設置への東側商店会の反対 ●路線バスの乗り入れなどです。住道駅は、国費補助を前提に道路、公園等の基幹施設の整備を計画的にしましたが、野崎・四条畷駅の未整備は、財源確保の困難さと総合計画の整合性という問題です。

## 「特別措置法」失効後の

### 事業について

千秋昌弘議員（日本共産党議員団）

問

北条・野崎青少年教育センターを生生涯学習の施設にしていく方向と聞きました。

答

たが、いつごろの予定ですか。

？

平成19年4月からという計画です。

！

滞納家賃の推移について

！平成16年度から取り組んでいる「特別徴収班」による徴収体制を継続しています。悪質なケースにつきましては、住宅明け渡し要求も視野に入れ、現在顧問弁護士と協議しています。

？

！同和对策関係の要望書の窓口は人権推進部ですが、特別措置法が失効した今は、広報広聴課にするべきではありませんか。また同和問題に関する3支部とのいわゆる対市交渉で、いきなり市長や助役が対応する特別対応をやめるべきではありませんか。

！

！広報広聴課を窓口とするのがより整合性があるかについては検討していきたいと考えています。対市交渉についても要望書に基づいて長年にわたるルーラル化し、効率的効果的方法として対応していますが、指摘も踏まえ、よりよい対応のあり方を検討する考えです。同和問題も人権問題もいろんな歴史の中で徐々に改善は進めるべきと考えています。

## 通学路の安全性についてなど

水落康一郎議員（清新会）

問

(1)南郷小学校に通う児童の保護者から、南郷住宅北側の東西道路が自動車の往来が多く、通学の際に危険との声を聞きます。具体的な改善策はありませんか。

答

路面への「徐行」の表示や、「歩行者



安全対策が求められる通学路

！注意」などの看板を設置し対応しています。信号機の設置は現場の状況から厳しいですが、今後も四條畷警察などのような対策が可能か協議します。

？

(2)新田、御領、氷野地区等の工業集積地域にマンションや住宅が多く建設されています。用途地域の変更や、住宅の建設を条例などで規制できませんか。

！

！住宅の開発を法的に制限するには、用途地域を工業専用地域に変更することもあるかもしれませんが、既存の住宅等が用途上不適格になり変更は困難です。

？

！工場などが移転後、固定資産税の減免などで企業誘致策を講じてはどうですか。

！

！平成18年度、産業振興ビジョンづくりの中で、提案いただいた優遇措置等を含め方策を検討していきます。

？

(3)横浜市が、選挙事務の職員の超過勤務報酬の削減のため、翌日開票を採用しました。本市でも導入できませんか。

！

！現時点では即日開票を維持していきたいと考えています。



## 学校の統廃合について

豊芦勝子議員（日本共産党議員団）

問 統廃合の目的は何ですか。

答 学校統廃合の目的は、子どもたちの教育環境をよりよくすることです。児童生徒数が、ピーク時の半分に減っているのに学校の配置は変わらないため、クラス替えもできないような状況です。この現実を改善していく考えです。

？ よい教育環境があれば若い世代が住むようになり、まちの活性化にもつながるではありませんか。

！ 子どもたちにとってよりよい環境を整えることにも正面から取り組む必要があると考えます。学校は地域の中核施設でもあり、どのような学校にするかは地域の大きな関心事です。学校と地域がどのように連携していくかという観点も重要であると考えています。

？ 学級数が減っていると言いつながら、40人学級のままだというのは納得がいきません。200人以下の小規模校が世界の流れです。どう考えていますか。

！ 学校教育法では12〜18クラスが標準規模とされていますが、「小規模」とはどの辺りのことをいうのか、どの程度が統廃合の対象となるのかについて議論していただくことを、学校統廃合検討委員会にお願いしています。

## 放課後児童クラブの運営時間

中野正明議員（清新会）

問 放課後児童クラブの年始の開所日は1

月7日ですが、児童センターは5日になっています。今日の子どもを取り巻く環境のことを考えると、世間一般の仕事初めと同じ5日にすべきではありませんか。

答 放課後児童クラブは、現在13カ所で運営しており、運営は大東市社会福祉協議会に委託しています。年始の開所日については、利用者の要望を踏まえたうえで、費用対効果を検証し、委託事業者と協議しながら検討していきます。

？ 社会福祉協議会に問い合わせたところ、年始5日からの受け入れは可能とのことでした。また、少子化対策が本市の重点施策であることを考えれば、時間延長に関してももっと前向きに検討し、保育所と同じ午後7時まででできませんか。

！ 希望者には平成16年度から午後6時まで延長し、17年度からは、土曜日も開設して運営の改善に努めています。今のところ、これ以上時間延長するのは困難ですが、利用者の意向を十分に踏まえて検討していきます。



校庭で元気に遊ぶ子どもたち  
（三箇小学校放課後児童クラブで）

## 一般質問項目（緑色の項目は8〜11ページにその質疑の要約を掲載しています）

中河 昭 議員

- 北条踏切の安全対策事業について
- こども会活動について
- 学校と通学路の安全対策について
- 自主防犯パトロール「青色回転灯パトロール隊」について
- 教育委員会の機構改革について
- 青少年教育センターの統合について
- 青少年教育センターの統廃合された後の施設について
- 消防庁等整備事業について
- 東分署の建て替えについて
- 四条驛駅周辺まちづくり協議会について
- 四条驛駅周辺協議会の助成金について
- 四条驛駅西駐輪場について
- せせらぎ水路について
- 防災対策、備蓄問題について

大谷真司 議員

- 図書サービスの拡充を
- 消費者相談窓口の改善を
- 大規模災害時におけるトイレ問題について
- 介護保険制度改正に伴う地域密着型サービスについて
- 学校の安全対策の推進について

松下 孝 議員

- 津の辺浸水対策について
- 南楠の里の道路と下水道工事について
- 北楠の里北側の水路問題について
- 南津の辺（11番地〜15番地）下水道工事終了後の水路埋込について
- 四条驛駅、野崎駅に関する整備について
- 財政問題（予算）について

水落康一郎議員

- 南郷住宅付近における通学路の安全性の確保について
- 用途地域の見直しについて
- 公益通報者保護法について
- 職員の仕事評価について
- 介護報酬の不正受給について
- 選挙開票事務について

中野正明 議員

- 放課後児童健全育成事業について
- 下水道整備について
- 学校防犯対策について
- 福祉について
- 財政について

豊芦勝子 議員

- 障害者の引きこもり対策について
- 0歳児から青年期を通じた子育て支援について
- 学校統廃合について
- 水辺環境について
- 四条南小学校通学路問題について
- 阪奈暴走対策について

千秋昌弘 議員

- 「特別措置法」失効後の一般行政への移行について
- 大阪府学力等実態調査について
- 介護保険について

澤田貞良 議員

- 下水道事業を振り返って
- 新一年生の給食開始時期を少しでも早めてほしい
- 大阪生駒線（西行き）の交通渋滞対策について
- 旧満電アスベスト除去工事に伴う大阪府との事務協議について
- 再度府市町村職員互助会退会給付金制度廃止に伴う清算金1億8千万円で電子黒板を設置できないが

光城敏雄 議員

- 市役所職員の職種別給与と定年退職について
- 市役所の機構改革について
- アイドリングストップについて
- 教員の赴任期間と人事異動について

内海久子 議員

- 子どもを産み育てやすい環境を
- 人間教育について
- 成年後見制度支援事業について
- 環境施策「もったいない運動」の推進を

山元 学 議員

- 市の木、市の花について
- 大東12水路の整備について
- 緑が丘1丁目から深野小学校への谷田川横断通学路橋付近の安全対策について
- 泉公園、公民館から泉小学校への防災緊急避難路バリアフリー化について
- 児童遊園109カ所老朽鉄板の取り替えと、公園への時計設置について
- 御供田北橋の路面整備について
- 恩智川右岸側管理道路の照明増と歩行者の交通安全対策について

寺坂修一 議員

- 公共施設の有効活用について
- だれでも使える地方公共団体ホームページの実現に向けて
- スポーツ振興について
- 環境問題について
- 行財政改革について
- 渋滞緩和対策について

岩淵 弘 議員

- 鴻池新田駅エレベーター設置について
- 小学校登下校時の子ども見まもり隊について
- 下水道90％となり、鴻池センターの投入量また下水道の進捗数について
- 消防団のポンプ車庫の補助について
- 住道駅北デッキ周辺の取り組みについて
- 赤井第2公園の拡張について
- 文化情報センターを利用しやすいように考えては
- 淀川左岸排水管理組合の廃止に伴い、大東市の管理する御嶺3丁目コック食品より新田北町の水路の改修について
- 三箇小学校通学について
- キッズプラザ開設、看板について

※掲載は発言順

# 審議結果

## 審議結果は次のとおりです（3月定例会）

### 17年度補正予算

- 一般会計（第4次）……………可決（多数）
- 国民健康保険特別会計（第2次）……………可決（全員）
- 下水道事業特別会計（第3次）……………可決（全員）
- 介護保険特別会計（第3次）……………可決（多数）

### 18年度予算

- 一般会計……………可決（多数）
- 国民健康保険特別会計……………可決（全員）
- 交通災害共済事業特別会計……………可決（全員）
- 下水道事業特別会計……………可決（全員）
- 火災共済事業特別会計……………可決（全員）
- 老人保健特別会計……………可決（全員）
- 諸福中垣内線整備事業特別会計……………可決（全員）
- 都市開発資金特別会計……………可決（全員）
- 介護保険特別会計……………可決（多数）
- 用地取得特別会計……………可決（全員）
- 水道事業会計……………可決（多数）

### 人事案件

- 人権擁護委員候補者（福井典子氏）の推薦……………同意（全員）
- 人権擁護委員候補者（塩津勝行氏）の推薦……………同意（全員）
- 人権擁護委員候補者（寺本一司氏）の推薦……………同意（全員）

### 条例の制定

- 住民基本台帳カードの利用に関する条例……………可決（全員）
- 環境基本条例……………可決（全員）
- 環境の保全等の推進に関する条例……………可決（全員）
- 障害程度区分等認定審査会の委員の定数等を定める条例……………可決（全員）
- 文化財保護条例……………可決（全員）

### 条例の全部改正

- 介護保険条例……………可決（多数）

### 条例の一部改正

- 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例……………可決（全員）
- 国民健康保険条例……………可決（全員）
- 国民健康保険税条例……………可決（全員）
- 乳幼児の医療費の助成に関する条例……………可決（全員）

- 老人医療費の助成に関する条例……………可決（全員）
- 老人デイサービスセンター条例……………可決（全員）
- 児童厚生施設条例……………可決（全員）
- 下水道条例……………可決（全員）
- 基金条例……………可決（全員）
- 総合文化センター条例……………可決（多数）
- 文化情報センター条例……………可決（全員）
- 消防手数料条例……………可決（全員）
- 市長等の給与に関する特別措置条例……………可決（全員）
- 一般職の職員の給与に関する条例……………可決（多数）
- 一般職の職員の給与に関する条例および一般職の職員の給与に関する特別措置条例の一部を改正する条例……………可決（全員）
- 職員の退職手当に関する条例……………可決（多数）

### 条例の廃止

- 長寿祝金条例……………可決（全員）

### 工事請負契約

- 観音排水区（第175工区）……………可決（全員）

### 請願

- 保育所民営化ではなく大東市すべての子どもたちの子育て施策の拡充を求める請願書……………不採択

### 決議・意見書

- 市制50周年を記念し高齢者を祝福するための決議……………可決（全員）
- さらなる総合的な少子化対策を求める意見書……………可決（全員）

### その他

- 淀川左岸用排水管理組合規約の一部を変更する規約について……………可決（全員）
- 淀川左岸用排水管理組合の解散に関する協議について……………可決（全員）
- 淀川左岸用排水管理組合の解散に伴う財産処分に関する協議について……………可決（全員）
- 財産の取得……………可決（全員）
- 議員の派遣……………可決（全員）

### 継続審査

- 廿田川河川改修資材置き場（府有地）及び外周辺民有地の活用についての請願書
- 陳情書（コミュニティバスの運行に関するもの）
- 陳情書（寺川5丁目市道水害防止対策工事にに関するもの）

## 日曜議会で講演会

多くの市民の皆さんに市政や市議会を知ってもらうために3月12日に日曜議会を開きました。

午後1時から20分間にわたり「人もまちもやさしい大東を」と題して、バリアフリー環境の改善に取り組む「大東やさしいまちづくり連絡会」会長の樋口武則氏に講演をしていただきました。

日曜議会は平成13年から開催し今回で6度目となりますが、62人の傍聴者がありました。



## 本会議の初日に「市民憲章」を唱和

市民であることを誇りに思い、住みよいまちにするために昭和46年10月に市民憲章が制定されました。内容を今一度かみ締め実践するため本会議開会前に議会運営委員会委員長の発声により全員で唱和しました。



# 市議会を傍聴しませんか

**6月** 次の定例会の開催予定日です

- 9日(金)／本会議〔議案上程・委員会付託〕
- 13日(火)／いきいき委員会
- 14日(水)／いきいき委員会
- 15日(木)／まちづくり委員会
- 16日(金)／まちづくり委員会
- 26日(月)／本会議〔一般質問〕
- 27日(火)／本会議〔一般質問〕
- 28日(水)／本会議〔一般質問・委員長報告・表決〕

※26日(月)、27日(火)、28日(水)の本会議は一般質問の質問者の数などにより日程の変更もあります。